

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	大成ラミック株式会社	事業所名	本社・工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	委託先を選定する際に、グリーン経営認証取得業者か安全性優良事業所を優先している		○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認					
02	モーダルシフトの推進	トラック輸送が主であるが、鉄道貨物輸送(JR)や船舶輸送を一部活用している		○	○	○
()						
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握	物流子会社車両の年間排出量を把握している		○	○	○
()						
04	積載率の向上	商品を入れるダンボールのサイズを極力絞り積載率を上げている		○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上					
04	積載率の向上	納入先により、ダンボールレス化をしている		○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施					
04	積載率の向上	輸送業者に対し、輸送量に応じた積載量の車両を発注している		○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注					

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上 (04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	運送先や輸送量によって、混載便の利用や他事業者と車両を共同で利用するなどしている	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	燃費測定を要請している	○	○	○
05 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	車両の燃費表を毎年提出してもらっている	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	営業から物流担当部署への発注締切時間を午後2時としている	○	○	○
06 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	小量多頻度納品の顧客先に対して、発注量の見直しの協力をお願いしていく	○	○	○
07 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	貨物輸送の大部分を物流子会社へ委託し効率化を図っている	○	○	○
07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	国内6か所の物流拠点を設け、一部現地配送をしている	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	毎月の会議にて情報を共有している	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	路上駐停車の無いようトラック駐車を確保している	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	工場、倉庫間は、工場からは製品を倉庫からは、原材料を同一車両で往復輸送し、空荷走行が無いようにしている	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	大成ラミック株式会社	事業所名	本社・工場			
	取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置	H27	H28	H29
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行			朝1回、夕2回運行	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理			十分な広さの駐輪場の確保	○	○	○